

「くしろ地域観光情報」台湾からの留学生が翻訳に協力

「北海道 くしろ地域観光情報」を中国語（繁体字）で発信
シェアで広がり！くしろの魅力



Facebook「北海道 釧路地区観光情報」のトップ画面

北海道釧路総合振興局は、釧路観光連盟と釧路公立大学と連携し、2015年2月からFacebook（FB）で中国語（繁体字）による「北海道 釧路地区観光情報」（「北海道 くしろ地域観光情報」）を発信する取組を始めた。中国語への翻訳には釧路公立大学の台湾からの留学生2人が協力した。FBのシェア機能を通じて、くしろ地域の魅力が広がることを期待している。

同局によると2013年度に釧路管内を訪れた外国人観光客延数は9万6500人で、うち台湾と香港からの観光客が6割以上を占める。また、2012年に開設した管内のイベント情報等を紹介する日本人向けFBページ「北海道釧路総合振興局」のファンの1割程度が台湾と香港の人であることが判明。そのため中国語で観光情報を発信することによる誘客促進を検討した。

同局では多言語の観光ホームページ作成を検討しており、その過程で台湾からの留学生にアドバイスをもらっていたことがきっかけでFBの取組みについても参加してもらうことになった。留学生とのコミュニケーションは日本語だが「優しい日本語を使うよう心がけた」（同局）。そのまま中国語にすると堅くておかしくなる日本語表現を独自に親しみやすく翻訳するなど、外国人目線ならではのアドバイスが役立っているという。参加した留学生からは「翻訳を通じて、くしろ地域の様々なことを知ることができて楽しい」との感想が寄せられる一方、同局では「住んでいる地域への貢献の一環として地域の魅力を発信してほしい」と留学生に情報発信の期待を寄せる。

「北海道 釧路地区観光情報」は開設から10日で「いいね！」を押したものが300名を超えた。「釧路湿原ウィンターカヌー」の紹介のように50を超える「いいね！」を獲得する投稿もあるが、シェア数はまだ少ない。職員が中国語を理解できないのも今後の課題だ。とはいえ同局の担当者は「実施前には不安もあったが、くしろ地域の魅力を少しずつ外国に発信できていると思う。中国語（繁体字）以外の外国語にも取り組みたい」と手応えと意欲を語る。

問い合わせ先

問合せ先：北海道釧路総合振興局産業振興部商工労働観光課

T E L : 0154-43-9184

メール：suzuki.shinichi@pref.hokkaido.lg.jp